

珠洲市地域公共交通活性化協議会

平成19年10月21日設置
平成21年 2月27日連携計画策定



概要

人口減少と高齢化が進行する珠洲市においては、市民生活の足である公共交通をできる限り維持・確保するため、地域の実情にあわせた公共交通サービスの効率化を図り、市民ニーズにあわせた公共交通を改編していくこととしている。

平成22年度は、スクールバスの活用や乗合タクシーの運行など、利便性向上のための実証実験や公共交通の利用を促す啓発活動を展開する。

1. 比較的ニーズの高い路線の利便性向上(実証実験)

・前年度実験を継続し、スクールバスの空き時間を活用して、公共交通空白地帯や空白時間における運行実験を実施。

2. スクールバスへの一般客混乗の導入(調査・検討)

・スクールバスの空き時間を活用した一般客混乗の運行実験において、問題点・課題の抽出を実施。

3. スクールバスの見直し(調査・検討)

・スクールバスの沿線地域において検討会を立ち上げ、スクールバスの一般客混乗や路線バス通学への一本化などを検討。

●山間部 里山バスの運行

●三崎地区 朝便の運行

4. デマンド乗合タクシーの運行(実証実験、調査・検討)

・前年度実験を継続し、交通空白地帯におけるデマンド型の乗合タクシーの試行運行を実施。あわせて、路線新設も検討。

5. 奥能登市町との連携によるICカード導入(調査・検討)

・近隣市町とICカード導入について検討。

6. 買い物客へのバス割引制度の導入(調査・検討)

・バス利用促進を図るため、買い物客へのバス割引制度の拡大を検討。

7. 会員制・路線株主制度、バス応援券の導入による運行(調査・検討)

・4の実証実験路線において、沿線地域で公共交通の運行費用を負担する方法を検討。

8. バス利用啓発の展開(調査・検討)

・各種実験に合わせてバス利用促進のPR活動及び、市民意識を把握するための調査を実施。

